あらまし

令和７年の火災件数は39件で、建物火災25件（うち住宅火災13件)、車両火災９件、その他の火災４件が発生し、損害額は175,098千円でした。

原因別では、排気管が５件、こんろが４件、溶接機・切断機が２件、たばこ、かまど・炉、ストーブ、電灯電話等の配線、電気機器、煙突・煙道、焼却炉、ボイラー、配線器具、火遊び、灯火、放火・放火の疑いが各１件、その他が12件、不明が４件で、死者は９名発生しています。

現在、市では、住宅火災の発生防止や被害軽減を目的に、住宅用火災警報器の全戸設置を目標として、防火指導や広報活動を強く推進しています。

千歳市では、中高層化する建築物の火災をはじめ、航空機災害、鉄道事故、高速道路等における多重衝突事故など様々な災害の発生が危惧されています。このため、指揮車及び支援車の導入や公設消火栓等の更新を行うなど消防施設や装備の計画的な整備・更新を継続しており、現在、１署５出張所と１消防団８分団により24時間体制で災害に備えています。

また、緊急消防援助隊に登録し、平成23年３月に発生した東日本大震災では13隊29人の消防隊員を宮城県へ派遣しました。今後も各種災害を想定した消防隊員の技術及び活動能力向上に努めながら、関係機関との連携を図っていきます。

救急業務については、令和７年の救急出動は4,973件、１日当たりの平均出動は約13.6件で、急病が64.0％を占めており、一般負傷などを含め、3,926人の患者を搬送しました。12誘導心電図伝送システムを搭載した２台を含む４台の高規格救急自動車を配備するとともに、救命処置範囲の拡大に伴い、気管挿管、薬剤投与、処置拡大２行為などができる救急救命士を配置し、高度救命処置を行っています。このほか、一刻を争う救命や幹線道路における事故現場の安全確保が必要な場合などには、消防車と救急車が同時に出動する救急活動を展

開しており、出動件数は258件となっています。また、心肺停止者に対するＡＥＤを使用した救命処置等を指導する救命講習を通年で開催し、応急手当の普及啓発活動による救命率向上に力を注いでいます。

市には、常時観測火山である樽前山や直下型地震の原因となる石狩低地東縁断層帯が存在します。また、近年は、地震や台風、集中豪雨などの自然災害が頻発・激甚化しています。市では、災害等に強いまちづくり・ひとづくりのため、関係機関と連携した防災訓練等を実施するとともに、自主防災組織への訪問を継続し、諸課題の把握に努めています。

令和７年度は、令和５年度から継続実施してきた国民保護検討会及び近隣市町村との勉強会を踏まえ、市境界付近への弾道ミサイルの偶発的な落下を想定した「千歳市・恵庭市合同国民保護（図上）訓練」を実施しました。また、土砂災害に伴う自主避難所開設を含めた初動対応の円滑化に資する観点から、土砂災害初動対処要領を策定、千歳市地域防災計画の改訂を行うなど、地域防災・減災対策のさらなる充実に努めています。

また、防災の拠点施設となる防災学習交流施設（そなえーる）では、「学ぶ・体験する・備える」をキーワードに防災・減災に対する意識向上に取り組んでおり、令和７年度は23,533人の利用がありました。

千歳警察署では、市内にある本署、５つの交番、２つの駐在所と空港警備派出所のほか、恵庭市内に３交番・１駐在所を置き、地域の安全を維持するため、警備体制の充実・強化を図っています。

交通安全は、市民一人ひとりの切実な願いですが、依然として交通事故が後を絶ちません。市内では令和７年に173件の交通事故が発生し、死亡者７人、負傷者176人の被害が生じました。市では、交通安全教育を実施するとともに、交通マナー等の普及啓発活動を行い、交通安全に対する意識の向上に努めています。

市内に所在する陸上及び航空自衛隊の各部隊は、災害発生時における様々な災害派遣活動を担っています。また、第１管区海上保安本部の千歳航空基地は、海上における警備救難及び200海里海洋秩序維持のほか、流氷観測などを行い、海上の安全と治安の確保を図っています。

164　消防職員数と消防車等設備の推移

年	消防署（本部を含む）													消防団				
	職員数	自動車台数											無線（基）	分団数	団員数	自動車台数			可搬式小型ポンプ
		タンク車	ポンプ車	化学車	はしご車	指揮車	広報車	救助工作車	資機材搬送車	救急車	大型水槽車	人員輸送車				タンク車	ポンプ車	積載車	
4	130	6	1	1	1	1	7	1	1	4	1	1	147	8	180	2	2	4	6
5	131	6	1	1	1	1	7	1	1	4	1	1	147	8	178	2	2	4	6
6	132	6	1	1	1	1	7	1	1	4	1	1	147	8	175	2	2	4	6
7	134	6	1	1	1	1	7	1	1	4	1	1	147	8	176	2	2	4	6
8	**139**	**6**	**1**	**1**	**1**	**1**	**7**	**1**	**1**	**4**	**1**	**1**	**147**	**8**	**168**	**2**	**2**	**4**	**6**

1　各年４月１日現在
消防本部総務課・警防課

165　消防水利

(1) 施設数

総数	消火栓				貯水槽（40ｔ以上）			用水路（マンホール）	池・その他
	計	公設		私設	計	公設	私設		
		双口	単口						
1,749	1,416	156	1,005	255	192	49	143	141	－

1　令和７年12月31日現在
消防本部警防課

(2) 充足状況

水利	現有数	A	1,080基
	基準数	B	949基
	充足率	A／B×100	87.9%

	区分	総数	内訳	
			常備	非常備
ポンプ	現有台数C（台）	12	7	5
	基準台数D（台）	13	7	6
	充足率 C/D×100（%）	92.3	100	83.3

1　令和７年４月１日現在
2　水利の現有数は、消防水利の基準に適合した消火栓数である
3　ポンプ現有台数、基準台数、充足率は消防力の整備指針に基づき算出
消防本部総務課・警防課

166　火災発生件数の推移

年・月	件数	焼損面積		焼損棟数	り災数		死傷者数		損害額（千円）
		建物（㎡）	林野（a）		世帯数	人員	死者	傷者	
3年	26	2,034	－	11	6	13	1	－	77,795
4年	37	899	86	28	14	28	5	14	130,481
5年	29	1,053	8	23	8	12	1	－	58,301
6年	31	1,479	－	27	11	20	－	2	46,546
7年	**39**	**886**	**－**	**40**	**23**	**45**	**9**	**6**	**175,098**
1月	3	8	－	2	1	1	－	－	20
2月	5	244	－	10	8	19	2	3	63,336
3月	2	187	－	2	－	－	－	－	19,874
4月	2	3	－	1	－	－	－	－	11,162
5月	4	98	－	4	2	2	1	－	1,085
6月	4	31	－	2	1	2	1	1	10,357
7月	3	1	－	1	1	2	－	1	9,099
8月	2	－	－	－	－	－	－	－	15
9月	3	7	－	2	1	2	－	－	4,431
10月	2	－	－	1	－	－	－	－	343
11月	3	168	－	8	5	9	4	－	38,495
12月	6	139	－	7	4	8	1	1	16,881

消防本部予防課

167　原因別火災発生件数（令和７年）

順位	原因	件数	順位	原因	件数
1	排気管	5	4	煙突・煙道	1
2	こんろ	4	4	焼却炉	1
3	溶接機・切断機	2	4	ボイラー	1
4	たばこ	1	4	配線器具	1
4	かまど・炉	1	4	火遊び	1
4	ストーブ	1	4	灯火	1
4	電灯電話等の配線	1	4	放火・放火の疑い	1
4	電気機器	1	－	その他・不明	16

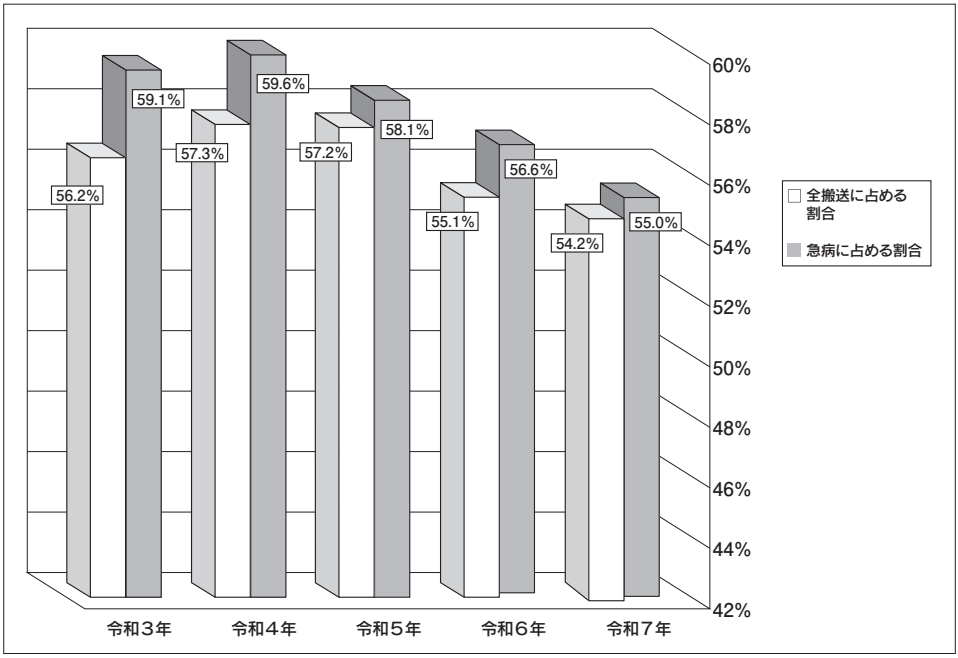
消防本部予防課

168　救急出動件数等の推移

年	総件数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬送人員
3	3,392	21	－	12	179	43	8	489	15	57	2,154	414	2,734
4	4,351	36	1	6	223	42	9	615	12	57	2,909	441	3,304
5	4,751	22	－	3	249	41	18	730	14	48	3,175	451	3,581
6	4,697	21	－	5	249	52	17	735	12	60	3,023	523	3,460
7	**4,973**	**31**	**－**	**3**	**249**	**99**	**18**	**786**	**10**	**62**	**3,184**	**531**	**3,926**

消防署救急運用課

高齢者（65歳以上）の搬送割合の推移



消防署救急運用課

169　刑法犯罪発生の推移

区　　分	3　年	4　年	5　年	6　年	7　年
総　　数	763	851	724	801	894
凶　悪　犯	2	3	5	6	4
殺　　人	1	1	1	2	1
強　　盗	－	1	1	－	1
放　　火	－	－	1	－	－
不同意性交等	1	1	2	4	2
粗　暴　犯	99	96	91	88	86
暴　　行	73	74	64	50	53
傷　　害	20	14	27	24	21
脅　　迫	5	7	－	7	10
恐　　喝	1	1	－	7	2
窃　盗　犯	516	568	502	577	629
知　能　犯	27	51	25	30	21
詐　　欺	22	44	22	21	19
横　　領	4	2	1	5	1
汚　　職	－	－	－	1	－
偽　　造	1	5	2	3	－
背　　任	－	－	－	－	1
そ　の　他	－	－	－	－	－
風　俗　犯	11	8	9	17	34
そ　の　他	108	125	92	83	120

1　千歳警察署管内（千歳市・恵庭市）の件数
北海道札幌方面千歳警察署

170　交通安全

(1) 年・月別発生状況の推移

年・月	発生件数	死亡者	負傷者
3年	134	1	150
4年	154	2	172
5年	173	4	211
6年	160	1	186
7年	**173**	**7**	**176**
1月	18	1	20
2月	10	2	8
3月	8	－	8
4月	10	－	10
5月	19	－	19
6月	14	1	14
7月	11	－	12
8月	12	－	13
9月	11	2	11
10月	24	－	25
11月	17	1	16
12月	19	－	20

1　千歳市内における件数（高速道を除く）
北海道札幌方面千歳警察署

(2) 路線別発生状況（令和7年）

路線	発生件数	死亡者	負傷者
総数	173	7	176
国道36号	26	－	27
国道337号	5	1	4
他国道(36.337以外)	3	－	4
道道支笏湖公園線	6	－	7
その他の道道	33	1	35
市道・その他道路	100	5	99

1　千歳市内における件数（高速道を除く）
北海道札幌方面千歳警察署

(3) 交通安全教育施設（交通公園）

所在地　花園1丁目6番1号
面　積　20,625.08㎡
主要施設　管理棟　定周式信号機（1交差点）　押しボタン式信号機（1か所）
開　場　昭和53年10月20日（令和4年5月1日リニューアルオープン）
開園期間　毎年5月1日から10月31日まで
ただし、毎週月曜日は閉園日（月曜日が国民の祝日又は振替休日に当たるときはその翌日）

利用状況の推移

年度	総数	幼児	小学生	一般	団体
3	5,316	1,612	868	2,075	761
4	18,497	5,482	3,507	7,814	1,694
5	18,549	5,056	4,222	7,342	1,929
6	21,424	7,028	4,983	8,104	1,309
7	**28,057**	**8,681**	**7,437**	**9,880**	**1,934**

1　一般に中学生を含む
市民生活課

171　非行少年等の推移

区分			3　年	4　年	5　年	6　年	**7　年**
総数			271	415	373	673	**721**
非行少年	刑法犯少年	犯罪少年	31	38	26	26	**36**
		触法少年	11	10	15	9	**7**
		小計	42	48	41	35	**43**
	特別法少年		4	1	2	2	**5**
	ぐ犯少年		－	－	－	－	**－**
	合計		46	49	43	37	**48**
不良行為少年			225	366	330	636	**673**

1　千歳警察署管内（千歳市・恵庭市）の件数
北海道札幌方面千歳警察署

172　防災学習交流施設

(1)　施設概要

所在地　あずさ４丁目22番1号　外
敷地総面積　8.4ha
主要施設　防災学習交流センター「そなえーる」（展示・体験コーナー等）　防災訓練広場　学びの広場（消火体験・救出体験）　防災の森（野営生活訓練広場・サバイバル広場・河川災害訓練広場）

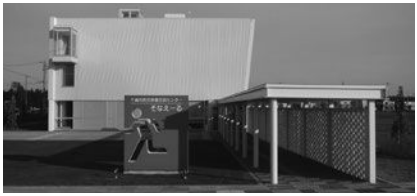
〔防災学習交流センター「そなえーる」〕
構造　Ｓ造及びＲＣ造の併用構造　地上３階塔屋１階
面積　建築1,443.81㎡　延床2,037.19㎡
開館　平成22年４月24日

防災学習交流施設

(2)　利用状況の推移

年度	総数	そなえーる・学びの広場利用者数				防災の森利用者数	
		見学・体験	有料施設	訓練・防災	自主事業	宿泊	日帰り
3	12,074	3,242	1,499	1,511	910	1,384	3,528
4	19,226	6,478	2,223	2,039	551	1,573	6,362
5	20,571	7,671	1,593	2,558	387	1,736	6,626
6	21,989	7,801	1,241	2,736	252	1,545	8,414
7	**23,533**	**7,094**	**1,628**	**4,222**	**271**	**1,273**	**9,045**

防災学習交流施設



防災学習交流施設（そなえーる）